

仙台市図書館振興計画



【めざす図書館像】

「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」

(取り組みの基本的方向)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 「地域や市民に役立つ図書館」 | 2 「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」 |
| 3 「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」 | 4 「自らの変革を進める図書館」 |

現行計画 (平成 29 年度～令和 3 年度)

【達成出来た主な項目】

- ・ 東日本大震災に関する資料の継続的収集、保存
- ・ 読書通帳の配布やブックトーク等による子どもの読書支援への取り組み
- ・ 図書館ホームページおよび図書館ツイッターの開設による情報発信
- ・ 配送業務委託による学校貸出図書配送サービスの拡充
- ・ 中田サービススポットの運用開始
- ・ 開館時間および貸出点数の見直し

現行計画をベースとして
見直しを図る

次期計画 (令和 4 年度～令和 10 年度) ※令和 7 年度見直し

【達成すべき主な項目】

- ・ 地域の歴史・魅力の継承・発掘・発信
- ・ 感染症のまん延等非常時における図書館サービスの研究
- ・ レファレンスサービスの広報・充実
- ・ 乳幼児から中高生まで、子どもの読書活動の推進
- ・ 読書バリアフリー法を踏まえた誰もが利用しやすい図書館サービスの推進
- ・ 来館しにくい方へのアウトリーチの充実
- ・ 電子図書館など、オンラインサービスの推進
- ・ SDGs のゴール達成に向けての資料の提供・広報

図書館協議会意見
等を踏まえ策定

【次期計画策定にあたっての考え方】

- ・ 現行計画で目指す本市の図書館像と取り組みの基本的方向を継承して策定する。
- ・ 現計画での未達成項目について整理のうえ盛り込むとともに、SDGs など新たな社会的課題にも取り組む。
- ・ 震災資料の活用、レファレンス機能の充実、乳幼児からヤングアダルト世代向けの読書支援強化、電子図書館等非来館型サービスの推進、関係機関との連携強化等、図書館協議会や市議会での意見を反映させた内容とする。
- ・ 特に、次期計画においては、「どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備」のための施策として、移動図書館や、電子図書館などのオンラインサービスの推進に取り組むとともに、感染症の流行など非常時の図書館サービスのあり方について研究を進める。
- ・ さらに、「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」実現のための施策として、乳幼児から中高生まで、学校、家庭、地域や関係機関と連携し、様々な年代の子どもの読書活動推進に取り組む。

課題・懸案など

持続可能なサービスの研究

誰もが利用しやすい図書館サービス

オンラインサービスの推進

多様な主体との連携・協働

子どもへの読書支援強化

どこに住んでいても身近に届くサービスの充実